

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【公開番号】特開 2018-191541 (P2018-191541A)

【公開日】平成 30 年 12 月 6 日 (2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報 2018-047

【出願番号】特願 2017-96137 (P2017-96137)

【国際特許分類】

A 2 3 L 27/00 (2016.01)

A 2 3 L 19/00 (2016.01)

A 2 3 L 27/10 (2016.01)

【F I】

A 2 3 L 27/00 Z

A 2 3 L 19/00 A

A 2 3 L 27/10 C

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 3 日 (2020.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アブラナ科野菜含有飲食品であって、

その含有成分は、少なくとも、(A)：フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde) であり、かつ、

(A)：フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde) と、(B)：2-ヘキセナール (2-Hexenal)、(C)：1-オクテン-3-オン (1-Octene-3-one)、及び (D)：ジメチルトリスルフィド (Dimethyltrisulfide) との含有量の関係が、

$0 \leq (B) / (A) \leq 0.00539$ 、

$0 \leq (C) / (A) \leq 0.0435$ 、かつ、

$0 \leq (D) / (A) \leq 0.290$ である。

【請求項 2】

アブラナ科野菜含有飲食品であって、

その含有成分は、少なくとも、(A)：フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde) であり、かつ、

(A)：フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde) と、(B)：2-ヘキセナール (2-Hexenal)、(C)：1-オクテン-3-オン (1-Octene-3-one)、及び (D)：ジメチルトリスルフィド (Dimethyltrisulfide) との含有量の関係が、

$0.00187 \leq (B) / (A) \leq 0.00539$ 、

$0.0129 \leq (C) / (A) \leq 0.0435$ 、かつ、

$0.0607 \leq (D) / (A) \leq 0.290$ である。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載のアブラナ科野菜含有飲食品であって、

当該アブラナ科野菜含有飲食品の Brix を 5.0 に換算したときの (A)：フェニル

アセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde) の含有量 (ppb) は、89.0 以上である。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 に記載のアブラナ科野菜含有飲食品であって、

当該アブラナ科野菜含有飲食品の Brix を 5.0 に換算したときの (A) : フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde)、(B) : 2-ヘキセナール (2-Hexenal)、(C) : 1-オクテン-3-オン (1-Octene-3-one)、及び (D) : ジメチルトリスルフィド (Dimethyltrisulfide) の含有量 (ppb) は、

(A) : 89.0 以上 107.0 以下、

(B) : 0.20 以上 0.48 以下、

(C) : 1.38 以上 3.87 以下、及び

(D) : 6.50 以上 25.83 以下である。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 の何れかに記載のアブラナ科野菜含有飲食品であって、(A) : フェニルアセトアル

デヒド (Phenylacetaldehyde) と、(E) : ブチルイソチオシアネート (Butylisothiocyanate) との含有量の関係が、

$0 \leq (E) / (A) \leq 0.00045$ である。

【請求項 6】

アブラナ科野菜含有飲食品であって、

当該アブラナ科野菜含有飲食品の Brix を 5.0 に換算したときの (A) : フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde)、(B) : 2-ヘキセナール (2-Hexenal)、(C) : 1-オクテン-3-オン (1-Octene-3-one)、及び (D) : ジメチルトリスルフィド (Dimethyltrisulfide)、の含有量 (ppb) は、

(A) : 89.0 以上 107.0 以下、

(B) : 0.20 以上 0.48 以下、

(C) : 1.38 以上 3.87 以下、かつ

(D) : 6.50 以上 25.83 以下である。

【請求項 7】

請求項 5 又は 6 に記載のアブラナ科野菜含有飲食品であって、

当該アブラナ科野菜含有飲食品の Brix を 5.0 に換算したときの、(E) : ブチルイソチオシアネート (Butylisothiocyanate) の含有量 (ppb) は、

(E) : 0 以上 0.04 以下である。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 の何れかに記載のアブラナ科野菜含有飲食品であって、

当該飲食品が、搾汁液、エキス (抽出液)、又は紛体の何れかである。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 の何れかに記載のアブラナ科野菜含有飲食品であって、当該飲食品の原料が、少なくともブロッコリー、タマネギ、セロリ、及びニンジンである。

【請求項 10】

アブラナ科野菜含有飲食品のkokを強化する方法であって、調整されるのは、(A) : フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde)、(B) : 2-ヘキセナール (2-Hexenal)、(C) : 1-オクテン-3-オン (1-Octene-3-one)、及び (D) : ジメチルトリスルフィド (Dimethyltrisulfide) の含有量であり、(A) ~ (D) の含有量の関係が、

$0 \leq (B) / (A) \leq 0.00539$ 、

$0 \leq (C) / (A) \leq 0.0435$ 、かつ、

$0 \leq (D) / (A) \leq 0.290$ である。

【請求項11】

アブラナ科野菜含有飲食品のコクを強化する方法であって、調整されるのは、(A)：フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde)、(B)：2-ヘキセナール (2-Hexenal)、(C)：1-オクテン-3-オン (1-Octene-3-one)、及び(D)：ジメチルトリスルフィド (Dimethyltrisulfide) の含有量であり、(A)～(D)の含有量の関係が、

$0.00187 \leq (B) / (A) \leq 0.00539$ 、
 $0.0129 \leq (C) / (A) \leq 0.0435$ 、かつ、
 $0.0607 \leq (D) / (A) \leq 0.290$ である。

【請求項12】

請求項10又は11に記載の方法であって、

当該アブラナ科野菜含有飲食品のBrixを5.0に換算したときの(A)：フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde) の含有量 (ppb) は、89.0以上である。

【請求項13】

請求項10又は11に記載の方法であって、当該アブラナ科野菜含有飲食品のBrixを5.0に換算したときの(A)：フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde)、(B)：2-ヘキセナール (2-Hexenal)、(C)：1-オクテン-3-オン (1-Octene-3-one)、及び(D)：ジメチルトリスルフィド (Dimethyltrisulfide) の含有量 (ppb) は、

(A)：89.0以上107.0以下、
 (B)：0.20以上0.48以下、
 (C)：1.38以上3.87以下、かつ
 (D)：6.50以上25.83以下である。

【請求項14】

請求項10～13の何れかに記載の方法であって、(A)：フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde) と、(E)：ブチルイソチオシアネート (Butylisothiocyanate) との含有量の関係が、

$0 \leq (E) / (A) \leq 0.00045$ である。

【請求項15】

アブラナ科野菜含有飲食品のコクを強化する方法であって、調整されるのは、(A)：フェニルアセトアルデヒド (Phenylacetaldehyde)、(B)：2-ヘキセナール (2-Hexenal)、(C)：1-オクテン-3-オン (1-Octene-3-one)、及び(D)：ジメチルトリスルフィド (Dimethyltrisulfide) の含有量であり、当該アブラナ科野菜含有飲食品のBrixを5.0に換算したときの(A)～(D)の含有量 (ppb) が、

(A)：89.0以上107.0以下、
 (B)：0.20以上0.48以下、
 (C)：1.38以上3.87以下、かつ
 (D)：6.50以上25.83以下である。

【請求項16】

請求項14又は15に記載の方法であって、

当該アブラナ科野菜含有飲食品のBrixを5.0に換算したときの、(E)：ブチルイソチオシアネート (Butylisothiocyanate) の含有量 (ppb) は、

(E)：0以上0.04以下である。

【請求項17】

請求項10～16の何れかに記載の方法であって、

当該飲食品が、搾汁液、エキス（抽出液）、又は紛体の何れかである。

【請求項 18】

請求項 10～17の何れかに記載の方法であって、当該飲食品の原料が少なくともブロッコリー、タマネギ、セロリ、及びニンジンである。